

**INTRODUCTION HISTORY MANAGING SYSTEM**

Patent Number: JP2000322488  
Publication date: 2000-11-24  
Inventor(s): WAKURA SHINJI  
Applicant(s): ASAHI DENSHI KENKYUSHO:KK  
Requested Patent: ☐ JP2000322488  
Application Number: JP20000232899 20000801  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F17/60  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an introduction history managing system with which an introducer can surely get a reward.

**SOLUTION:** This system has a server 1 connectable from a portable terminal through the Internet and the server 1 is provided with an identification data storage means 7 for storing identification data transmitted from the portable terminal for identifying the owner of the portable terminal and an introduction relation storage means 8 for relating and storing the identification data of the introducer and the identification data of a person to be introduced when the said identification data of the introducer and the identification data of the person to be introduced are received.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-322488  
(P2000-322488A)

(43) 公開日 平成12年11月24日 (2000. 11. 24)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 3 0	G 0 6 F 17/60	3 3 0
	5 0 2		5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L 公開請求 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-232899 (P2000-232899)

(22) 出願日 平成12年 8 月 1 日 (2000. 8. 1)

(71) 出願人 391015616

株式会社アサヒ電子研究所  
大阪府大阪市中央区瓦町 1 - 4 - 16

(72) 発明者 和倉 慎治

大阪市中央区瓦町 1 - 4 - 16 株式会社ア  
サヒ電子研究所内

(74) 代理人 100074332

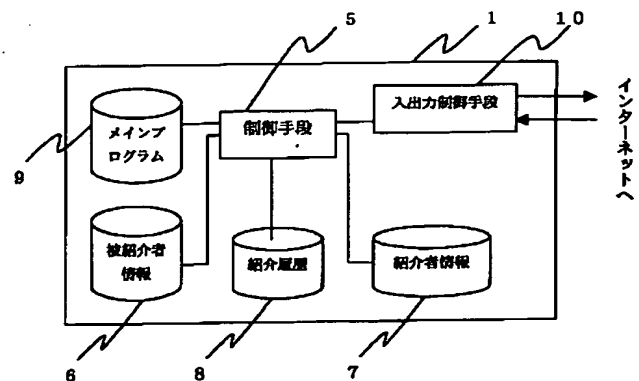
弁理士 藤本 昇 (外 2 名)

(54) 【発明の名称】 紹介履歴管理システム

(57) 【要約】

【課題】 紹介者が確実に報酬を得ることができる紹介履歴管理システムを提供する。

【解決手段】 インターネットを介して携帯端末から接続可能なサーバを有し、該サーバ 1 には、携帯端末から送信された、該携帯端末の所持者を識別するための識別データを記憶する識別データ記憶手段 7 と、紹介者の前記識別データと被紹介者の識別データを受信した場合に、前記紹介者の識別データと被紹介者の識別データとを関連づけて記憶する紹介関係記憶手段 8 とが設けられている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットを介して携帯端末から接続可能なサーバを有し、該サーバには、  
携帯端末から送信された、該携帯端末の所持者を識別するための識別データを記憶する識別データ記憶手段と、  
紹介者の前記識別データと被紹介者の識別データを受信した場合に、前記紹介者の識別データと被紹介者の識別データとを関連づけて記憶する紹介関係記憶手段とが設けられてなることを特徴とする紹介履歴管理システム。

【請求項2】 前記識別データが、指紋データ、声紋データ、筆跡データのうちの何れかを含み得る請求項1記載の紹介履歴管理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、紹介者が被紹介者を商品の販売元等に紹介し、被紹介者に対して商品を販売する際に用いられ得る紹介履歴管理システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 商品の販売方法として、従来より業者に人を紹介し、業者は紹介された人に対して商品を販売するという方法がある。このような販売方法においては、紹介された人（被紹介者）が来店時や購入時等に登録カード等に自分の氏名、住所、電話番号等の連絡先と共に紹介者の名前や紹介者の登録番号等を記入することにより、前記被紹介者が誰から紹介されたかを特定している。また、紹介された人（被紹介者）が商品を購入した場合には、前記登録カード等を参照し、紹介者に対して業者から商品券、景品、現金等の報酬が支払われている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、前記従来の方法においては、ある人が一人の人から紹介を受け、その後他の人からも紹介を受けてから商品の購入を決定したような場合には、紹介者がどちらの人であるかを特定できず、紹介関係が不明確となってしまう。紹介による販売方法では、上述のように、被紹介者が商品を購入する際には、紹介者に対して報酬が支払われるため、紹介関係が不明確であれば、紹介者が不利益を被るという問題がある。

【0004】 本発明は、このような問題を解決するためになされたもので、紹介者が確実に報酬を得ることができる紹介履歴管理システムを提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するためになされた本発明に係る紹介履歴管理システムは、インターネットを介して携帯端末から接続可能なサーバを有し、該サーバ1には、携帯端末から送信された、該携帯端末の所持者を識別するための識別データを記憶する識

別データ記憶手段7と、紹介者の前記識別データと被紹介者の識別データを受信した場合に、前記紹介者の識別データと被紹介者の識別データとを関連づけて記憶する紹介関係記憶手段8とが設けられていることを特徴としている。斯かるシステムによれば、紹介者と被紹介者の識別データが関連づけられて記憶されるので、紹介関係記憶手段8を参照することにより、被紹介者を誰が紹介したかを特定することができる。

【0006】 前記識別データが、指紋データ、声紋データ、筆跡データのうちの何れかを含み得ることが好ましい。斯かる構成とすることにより、識別データを個人に固有のデータとすることができる。

## 【0007】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の一実施形態について図面に基づいて説明する。図1は本発明に係る紹介履歴管理システムの一実施形態を示す概念図である。参照符号1は、サーバであり、電話回線を経由してインターネット3に接続されている。また、参照符号2は、紹介者が有する紹介者端末を示し、参照符号4は、紹介された人の被紹介者端末を示す。前記紹介者端末2及び被紹介者端末4は、前記サーバ1と同様に、電話回線を経由してインターネットに接続されている。尚、紹介者端末2及び被紹介者端末4には、それぞれ液晶ディスプレイ等から構成される表示部と、入力ボタン等の入力部が設けられており、紹介者端末2及び被紹介者端末4としては携帯電話、PHS、携帯情報端末等の携帯端末が好適に用いられ得る。本実施形態においては、紹介者端末2及び被紹介者端末4として携帯電話を使用する場合について説明する。

【0008】 次に、サーバ1の構成について説明する。図2は、サーバ1の構成を示すブロック図である。図2において、参照符号5は制御手段を示し、CPU等から構成され、データの転送、各部の制御、種々の演算等を行う。更に、前記サーバ1には、インターネット3を介して接続された紹介者端末2や被紹介者端末4から入力されるデータ、及びサーバ1から出力されるデータを制御する入出力制御手段10が設けられている。

【0009】 また、記憶手段6には、被紹介者に関する情報がデータベース化されたファイルが格納されている。被紹介者に関する情報には、被紹介者の氏名、住所等の連絡先、メールアドレス、被紹介者の携帯電話の電話番号等が挙げられる。

【0010】 記憶手段7には、紹介者に関する情報がデータベース化されたファイルが格納されている。紹介者に関する情報には、紹介者の氏名、住所等の連絡先、メールアドレス、紹介者の携帯電話の電話番号、個人を識別するためのID、パスワード等が挙げられる。

【0011】 一方、記憶手段8には、紹介がなされた場合に、紹介者と被紹介者を特定して関連づける、紹介履歴情報が格納されている。例えば、紹介者の携帯電話の

電話番号と、被紹介者の携帯電話の電話番号と、サーバ1に紹介がなされた時間とが関連づけられてファイルに格納されている。尚、前記各記憶手段としては、例えばハードディスク等が好適に用いられる。

【0012】また、記憶手段9には、メインプログラムが格納されている。メインプログラムは、前記各端末の表示部に、各種の情報を表示させるためのプログラム等から構成されており、制御手段5により動作する。前記記憶手段9内のメインプログラムが制御手段5により動作すると、記憶手段6、7、8に格納されているファイルが適宜参照されたり、記憶が更新されるよう、メインプログラムと記憶手段6、7、8内のファイルは関連づけられて構成されている。

【0013】次に、本実施形態における紹介履歴管理システムの動作について説明する。まず、サーバ1内の記憶手段7に登録がなされている紹介者が、友人等に商品やサービス等、販売しようとするものについての説明を行う。説明を受けた友人等が、前記商品やサービス等を販売している会社に対して紹介を受けることに同意すれば、紹介者が携帯電話（紹介者端末）2からサーバ1にアクセスする。携帯電話からサーバ1に接続されると、メインプログラムに従い、サーバ1からは図3に示すような紹介画面が携帯電話に対して送信される。

【0014】次に、紹介画面の表示に従って紹介者がID、パスワード、及び紹介したい人（以下、被紹介者という）の氏名、住所、携帯電話の電話番号、携帯電話のメールアドレス等を入力した後、サーバ1に送信する。

【0015】サーバ1は、受信したID、パスワードを、記憶手段7に記憶されているものと照合する。記憶手段7に記憶されているものと一致している場合には、その紹介者を特定し、後に紹介履歴を記憶する記憶手段8に入力する電話番号等を記憶手段7から呼び出す。尚、携帯電話の電話番号は、その所持者に固有のものであるため、紹介者や被紹介者を識別する識別データとして用いられ得る。そして、記憶手段7は、携帯電話の所持者を識別するための識別データを記憶する識別データ記憶手段としての役割を果たす。

【0016】被紹介者の氏名、住所、携帯電話の電話番号、携帯電話のメールアドレス等、被紹介者に関する情報は、サーバ1内の記憶手段6に記憶される一方、紹介のあった時間（被紹介者の電話番号等がサーバ1に送信された時間）、及び個人を特定する情報（識別データ）として紹介者と被紹介者の携帯電話の電話番号が、記憶手段8に紹介履歴として入力される。

【0017】次に、サーバ1から被紹介者に対しては、携帯電話（被紹介者端末）4に電子メールにて、IDが送信される。被紹介者は、紹介者に確かに紹介されたことをサーバ1に対して確認するために、サーバ1にアクセスし、IDを入力する。尚、パスワードは被紹介者が設定し、サーバ1に登録しておくことが好ましい。サー

バ1から被紹介者の携帯電話に対しては、図4に示す応募画面が送信される。

【0018】被紹介者は、携帯電話4で応募画面にて確認事項を入力した後、サーバ1に入力した応募画面を送信する。応募画面を受信したサーバ1は、紹介履歴を記憶した記憶手段8に紹介が完了したことを示すデータを入力した後、紹介者と被紹介者の両方に対して、確かに紹介が成立したことを報告するメールを送信する。

【0019】被紹介者に対しては、商品やサービスを購入するように促すメールやダイレクトメール等が送られ、購入に結びつくと、紹介者に対して所定の謝礼（金券、現金、商品券、商品等）が渡される。尚、購入したか否かについてのデータも、サーバ1の被紹介者情報を記憶する記憶手段6に記憶される。

【0020】このように、サーバ1は、誰が誰を紹介したかを、紹介履歴を記憶する記憶手段8に記憶することができるので、紹介関係が明確であり、確実に紹介者に謝礼が渡される。また、紹介者が何人紹介したか、被紹介者が商品を購入したか否かのデータも記憶手段に記憶されているので、これらのデータを紹介者に閲覧可能とすることにより、紹介者は自分が紹介した相手が購入したか等を認識可能である。

【0021】また、被紹介者が既に紹介されている場合にも、紹介履歴を記憶した記憶手段8を照会することにより、二重に紹介を受ける間違いがない。

【0022】更に、紹介者、被紹介者が共に携帯電話を使用するので、紹介者が被紹介者に商品などの説明を行ったその場でサーバ1への接続が可能であるから、紹介関係等を即座に送信することが可能である。従って、従来と比して紹介スピードを向上することができる。

【0023】上記実施形態においては、識別データとして、携帯電話の電話番号を用いたが、個人を特定するためのデータとして、指紋、声紋、筆跡等を登録時にデジタルデータ化してサーバに記憶しておき、指紋、声紋、筆跡等を読み込む装置（スキャナー、音声入力装置等）を携帯電話に接続し、読み込んだデータをID、パスワードと共にサーバに送信することによって紹介者等を認証することもできる。

【0024】このように指紋データ、声紋データ、筆跡データ等の何れかを識別データとして用いることにより、個人を確実に特定することができる。従って、登録の際、一人で複数のIDを持つ等のなりすましを防止することができる。

【0025】また、上記実施形態においては、紹介履歴情報を記憶する記憶手段には、紹介者と被紹介者を特定する情報（識別データ）として、それぞれの携帯電話の電話番号を記憶したが、紹介者のID、被紹介者の氏名等、紹介者と被紹介者を特定することができる情報であれば任意である。

【0026】更に、紹介者端末、被紹介者端末として

は、携帯電話のみならず、PHS、携帯情報端末（PDA）、パーソナルコンピュータ等任意であるが、携帯可能な端末（PHS、携帯情報端末）であることが、紹介のスピードを早めることができるため好ましい。

【0027】また、上記実施形態においては、紹介により商品等を販売する場合に、紹介履歴管理システムを使用した、本発明に係る紹介履歴管理システムは、上述に限定されることなく、紹介を前提として、情報の授受を行う様々の用途に用いられ得る。

【0028】

【発明の効果】本発明に係る紹介履歴管理システムによれば、確実に紹介関係を示すことができるので、紹介者に不利益となることを防止し、紹介者に確実に報酬を渡すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る紹介履歴管理システムの一実施形態を示す概念図。

【図2】 サーバの構成を示すブロック図。

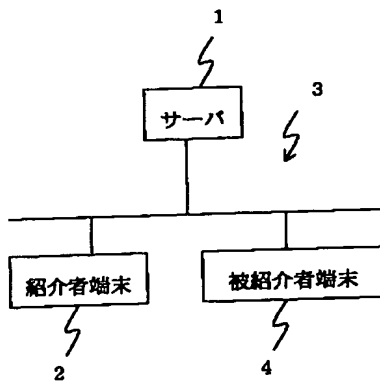
【図3】 紹介画面の例。

【図4】 応募画面の例。

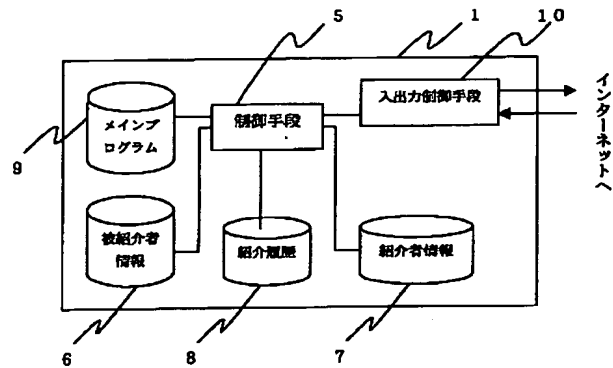
【符号の説明】

- |   |          |            |      |
|---|----------|------------|------|
| 1 | サーバ      | 2          | 携帯電話 |
|   | (紹介者端末)  |            |      |
| 3 | インターネット  | 4          | 携帯電話 |
|   | (被紹介者端末) |            |      |
| 5 | 制御手段     | 6, 7, 8, 9 |      |
|   | 記憶手段     |            |      |

【図1】



【図2】



【図4】

【図3】

**紹介画面**

ID

パスワード

紹介したい人の氏名

住所

携帯電話番号

Eメールアドレス

**応募画面**

あなたは、弊社の〇商品の購入に際して  
Aさんから紹介を受けております。

1. 間違いないですか？

☐ 間違いない ☐ 紹介を受けていない

2. 弊社に登録することに同意しますか？

☐ 同意する ☐ 同意しない